

残暑お見舞い申し上げます。

毎日、本当に暑くて冷房の効いた室内からうだるような

熱気の屋外に出るのはなかなか勇気が要りますね…。

この厳しい暑さから私達を守ってくれている「わが家」も

密かに悲鳴をあげているのではないのでしょうか？

ア ッ ト ・ ホ ー ム ・ ペ ー ジ

15 - 0208

工夫いっぱいのリフォームテクニック



◆◆◆ 「外壁」編 ◆◆◆



— 屋根・外壁の健康状態は、住宅にとって重要なポイントです。 —

(1) 「外壁」の老朽化・劣化の進行

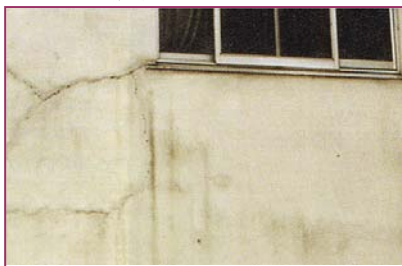
- ① 5～7年目 … 紫外線、風雨等による褪色・汚れが見られます。
- ② 7～10年目 … 上記に加え、ひび割れ・はがれ等の傷みが目立つようになります。
→ ● この時点で塗替えを！（塗装の場合：塗料の種類により耐久年数に差がありますがそれぞれ適切な時期に定期的にメンテナンスすることが望ましいです。）
- ③ 10年目以降 … 放置した劣化部分から雨水・湿気が浸入し、内部の構造部分にまで影響を及ぼし始め、劣化は深刻になります。（耐震・耐火の性能も低下し、住宅の寿命が縮まる危機。）
→ ● この状態まで進むと、傷み・腐食の度合いによってかなり大掛かりな修繕を要する事態となります。

※1. シーリングの劣化



→放置すると漏水の原因に。

※2. 亀裂（ひび割れ）



→雨水・湿気が浸入し易い。

※3. ヨゴレ・カビ・コケ



→外壁材の腐食を誘引。

☆適切にメンテナンス・修繕を施せば、住宅の物理的な耐用年数が伸びるのは確かですが、経済的なことも考慮に入れるなら、定期的にメンテナンスを行なうか、または一度期に高額をかけて半永久的にひび割れや褪色の起らない外装材で改修してしまうかなど、いろいろなやり方があります。

(2) 「外壁」のリフォームパターン(例:①角タイル調 ②二種組合せ型 ③白御影石調 ④塗装)



☆「外壁」は屋根や建物の形状に並んで外観イメージを大きく左右する条件要素です。

塗装のカラー、パネルの色柄・模様・質感等、現在では多様に商品がでていますから、お好みにあわせて選択の幅も広がっています。付属品(幕板・化粧柱梁・窓かざり等)でアクセントをつけるとより効果的です。

— 「我が家の外観イメージ・シミュレーション」をご希望の方は、お気軽にお申し付け下さい。 —

一級建築士事務所 n設計工房 株式会社 西村工務店

〒657-0823 神戸市灘区天城通1-5-20

フリーダイヤル 0120-86-7440 E-mail nisimura@col.hi-ho.ne.jp